

鍛錬坂



校り号
だより
第 74 号
奈留高
学第 74

九月二十五日に第四回小中高合同体育大会が行われました。今大会は、「輝」（一人ひとりが輝こう！そして結ぼう奈留の絆）のテーマで、全児童・生徒が2つの団に分かれ、頑張りまくった。体育大会の練習期間は、残暑が厳しく、熱中症等の体調管理が大変でした。また、大会一週間前は台風の影響もあり、思うように設備準備が進まず非常に心配しました。しかし、大会前日より、天候も回復。すがすがしい秋晴れのもと大会当日を向かえることができました。今大会は、小中学校新校舎完成もあり、地域の方には、競技や応援に多数参加していただき非常に盛り上がりました。また、本年度より新種目、「むかで競争」を行い、生徒も非常に盛り上がり、とても、さらに盛り上がりがある体育大会になるよう、頑張っています。



5段ピラミッド



「体育大会を終えて」

赤団団長 宮嶋海斗

私にとって、大勢の前で指揮を執ることは初めての体験でした。始めは、小中学生の指導に戸惑い、周りの生徒や先生方に迷惑をかけてばかりでした。その時、指示することの難しさを痛感しました。しかし、先生方のアドバイスで、人の意見を聞き、周りに気を配るように心がけることで、一つにまとまったような気がしました。また、赤団の優勝に大きく貢献してくれたのは、皆さん一人ひとりがいつも以上の力を発揮してくれたからだと思います。赤団の皆さんに助けてもらいながら、団長としての役目を果たすことができました。この経験を今後の生活に生かしていきたいと思えます。今年度の体育大会は最高の思い出となりました。同級生のみならず、先生方、地域の方々に感謝します。ありがとうございました。



「体育大会を終えて」

青団団長 葛島一誠

私たち高校3年生にとっては最後の体育大会でした。勝ち負けも大切ですが、何よりもみんなの一生の思い出になるような楽しいものにしようという決意がありました。本当に良い体育大会であったと思います。これは高校生だけでなく、小中学生がいたからだと思っています。団長として頼りない部分のある自分についてきてくれた後輩。少ない時間の中で、最大限の協力をしてくれたクラスの人々に「ありがとう」と伝えたいです。最後の体育大会をこのメンパいでやれたことが、私の一番の思い出です。最後に、保護者の方々、地域の皆様、温かいご声援ありがとうございました。



奈留高校部活動 新人戦結果報告!!

☆陸上競技部☆

100m	川中	2分53秒
800m	岩本宏	2分33秒
1500m	岩本和	5分02秒
5000m	村中	18分42秒
10000m	村木	37分03秒
15000m	岩本和	54分02秒
20000m	岩本和	1時間03分02秒
30000m	岩本和	1時間42分06秒

☆バドミントン部☆

ダブルス	1回戦敗退
江口・橋口	1回戦敗退
シングル	1回戦敗退
橋口	1回戦敗退

☆軟式野球部☆

決勝戦 7月3日 対北松農業 3期ぶり22回日の優勝!

10月23日から、大分県大分市で開催される九州大会に、長崎県代表として出場!

今後とも、各部活動への応援よろしくお願いたします。

平成 23年度文化祭

9月4日(日)に、文化祭が開催されました。今年のテーマは、「Joyful」～届け私たちの笑顔～。地震や津波、原発事故などで未曾有の被害を受けた東北の被災者の皆さんに、笑顔と元気を届けようという思いから生まれたテーマです。展示部門は、新しく赴任されたクリスタル先生が、母国カナダを紹介するブースや、理科実験コーナー、その他にも地域の皆様の篆刻作品の展示や、手作りクッキーの販売コーナーなど、とても充実したものとなりました。



また、ステージ部門でも、合唱コンクールでは各クラスが自慢の歌声を響かせ、先生方による合唱では、なんと和田アキ子さんが登場する?!というサプライズもありました。クラス企画では、生徒達が工夫を凝らしたステージで会場を盛り上げてくれました。また、今年も鳴神太鼓保存会の皆様にも御出演いただき、勇壮な太鼓の演奏を披露していただきました。ステージ部門のラストを飾ったのは、有志の先生方による華麗なKARAのダンスでした。今年も、たくさんの地域の皆様にご観覧いただき、ありがとうございました。次回も、笑顔溢れる文化祭を開催したいと思えます。来年も、ぜひお越しください。



鳴神太鼓保存会様による演奏

My life in Japan so far...

I arrived in Japan two months ago. I was very excited and nervous, I had never been to Japan before.
The first day that I came to Naru, I was very surprised at how beautiful the island was, and how quite too.
My first impression of the people and students was that everyone was so friendly and kind. I have tried many new things while living on Naru, including Taiko drumming!
It is so much fun. My arms are very tired.
During my free time I enjoy walking around Naru and exploring new places.
One of my favorite places is Senjyokiji beach, it is very beautiful and unique.
Even two months later, each day is an adventure as I learn something new everyday.

日本で生活の近況報告

私は、2ヶ月前に日本に来ました。初めてだったので、とても興奮して、緊張してました。奈留に来た初日、島の美しさや静かさに驚きました。今、太鼓の練習など様々なことにチャレンジしています。腕が痛いです。暇な時は、奈留を歩いて散策しています。私の特に好きな場所は「千畳敷」です。とても美しく、独特の雰囲気です。また2ヶ月しか経っていませんが、毎日、冒険のように新しいことを学んでいます。

11・12月の主な奈留高校の行事

11/1	火	総合文化祭(長崎市)
2	水	高総体駅伝競技大会(雲仙市)
8	火	校内駅伝・マラソン大会
16	水	人生の達人セミナー
18	金	小中高合同百人一首大会
25	金	期末考査(～30日)
27	日	全商ワープロ実務検定
30	水	人権同和教育
12/5	月	2年生修学旅行(～9日)
22	木	2学期終業式
26	月	冬季補習前期開始

新生徒会執行部紹介



葛島 かんな
岩村 勇人
村木 健伸
江口 華加
岩村 広司
大久保 祐美
浜村 慎平
道脇 舞乃

会長 副会長
書記 会計
執行委員

十月七日(金)、生徒会役員任命式が行われ、右の九名による生徒会執行部新体制がスタートしました。葛島かんな新会長が就任の挨拶で述べた、「一人ひとりが生徒会のメンバー」という気持ちを全ての生徒が共有して、様々な学校行事を通して絆を深めていってほしいと思いをします。

学年だより

一学年から
主任 本田 総一郎

早いもので、高校生活も半年が過ぎました。この二学期は文化祭、体育大会と学校行事が続くように感じます。文化祭では、各クラスともステージ発表を行いました。また、体育大会では、高校生として、先輩方と協力し、小中学生の本となれるよう頑張っていました。

さて、行事続きの二学期ですが、気持ちの切り替えが上手いかず、二学期中間考査では思うような点数が取れなかった生徒が、多くいたように感じます。

先日、球団初の二年連続リーグ優勝に導いた、中日ドラゴンズ落合監督の会談を拝見しました。落合監督の『練習はウソをつかない』という発言を聴き、非常に納得させられました。定期考査は出題範囲が決まられています。努力した分が点数として現れます。やったつもりではいけないと感じました。家庭学習と部活動の両立を図り、二年後の自分の進路をしっかり見据え、毎日を大切に過ごして欲しいものです。

二学年から
主任 高木 理砂

早いもので、高校生活も半分が過ぎ、折り返しとなりました。九月に行われた文化祭、体育大会では、十一名として少人数ながらも中堅学年として頑張る姿が見られ、成長を感じることができました。

さて、行事の続いた二学期ですが、気持ちの切り替えが上手くできていないところが多いか、学習が疎かになっていないか、最も心配されるところです。『超訳ブツダの言葉』という本の中で「君は、君の心の

奴隷であることなく、君の心の主人であるように。君の心の何にもすがらず、自分の仔馬を丁寧に調教するように。ことがないよう、安きに流されることがないよう、自分の心で、だれも選んだことによらぬ苦しみが、逆にならざる道を選ぶ喜び、困難の中にそれを開いていくのは皆さん自身だということを心に刻み、残り

マラソン大会のお知らせ

11月8日(火)雨天時9日
校内駅伝・マラソン大会

が開催されます！コースは昨年度とさく同様です。たくさんの方のご協力とご声援をお願い致します。

家庭クラブより

配布した六種類のティッシュケース

生徒から地域の方々へ



生徒から地域の方々へ

二学年から
主任 中川 卓也

近年、大学生や高校生にとって進路を決定するのが難しい時代であると言われております。生徒、職員共にその厳しさを痛感しております。しかし、嘆いてばかりはいられません。いかにすればこの「厳しい時代」を乗り越えることができるのかを考え、自分自身の成長に繋げることが大事です。三年生の進路希望は就職と進学との二つに大きく分けられます。私は就職試験と進学試験ではその性質が異なると思います。就職試験は面接官がその可否を決めるため、「人が人の可否を決める試験」であると言えます。進学試験は自分の学力が数値化され、その結果で可否が決まるため、「自分の学力が自分の可否を決める試験」であると言えます。そのことを考えると、就職試験を乗り越えるためには、普段から人(大人)と積極的に接し、社会人として必要な考え方や行動力、礼儀について理解し、それらを身につけ、さらに、面接試験で表現できるようにする必要があります。進学試験を乗り越えるためには合格点を得るだけの学力を「自分の力」で身につけ、それを本番で発揮することが必要です。いずれにしても一朝一夕で身につくものではありません。努力を続けることが大切です。努力は人を裏切りません。今が正念場です。職員一丸となって頑張ってくださいませ。保護者の皆様もこれ以上のご支援をお願いします。

校長室から
校長 小林 勝

「誰にでも出来ること、自分のためにやること」

お盆明けからウオーキングを続けている。校長住宅から夏井バス停まで往復八キロをほぼ毎晩八十分で歩く。真つ暗な夜中に懐中電灯片手に、満月の星を独り占めにしようという気分で行く。きつかけは村上校長先生から合同体育大会リレー種目への出場を持ち掛けられたこと。おかげで当日は(わずかの距離ながら)無事に走る事が出来た。そしてその後もウオーキングは続けている。休日にはおにぎり持参で、大車、千疊敷、汐池と、二十キロ歩いたりする。島中が自然遊歩道みたくな奈留島の景色を満喫し、森林浴に浸っている。すると徐々に体がスリムになってきた。以前から高めたた血圧も正常値になってきた。こうなるともうやめられない。北風の厳しい季節も到来も近いが、弱気の虫を封じするために、この場を借りて歩き続ける事を宣言しておく。

生徒会役員立会演説会で、立候補者の諸君が「さわやかな挨拶」の推進をスローガンとして掲げていた。今でも奈留高校生は良く挨拶をしてくれる。でもこれに笑顔が加われば、それはどんなにか素敵だろうと思ふ。私は心配性のせいか、挨拶をされないし嫌われているのかと心配になる。逆に、笑顔でさわやかな挨拶を受けると、それだけで幸せな気分になってしまう。初対面の人からだと、その人に好感を持つてしまう。私にとって、さわやかな挨拶の効果は絶大である。

世の中が厳しい。東日本大震災、原発事故による放射能被害、集中豪雨による災害、そして異常な田高やタイの大洪水に悩む日本企業。世界に目を向けても、至る所に不安が渦巻いている。そのような背景が大きく影響し、高校生の就職状況は例年になく厳しい。もちろん本校生も例外ではない。厳しさを想定し、今度以上に準備をして臨んだ就職試験であったが、結果はなかなか思い通りにはならなかった。進学を目指す生徒諸君も含め、厳しいはまだまだ続いていくが、こんな時こそ、常に大きく明るい声で「ハイ」という返事をしよう。元氣な返事がきくと自分も勇気づけられる。困難を前に、進む力を与えてくれる。

誰にでも出来ること、自分のためにやること」は周りに満ちている大切なこと。そして続けることである。「さわやかな挨拶」「元氣返事」を自分のために、始めてみよう。そして続けてみよう。きつと善敵に変わっていく自分に気づく日が訪れるはずである。

職員一
高留 奈留
「力強く」
山内 徹

奈留高校に赴任して早くも半年が過ぎようとしています。私自身ようやうやう奈留島の生活に慣れつつと一安心。ふと職員室から窓の外に目を向けると、木々が葉を落とし、にわかには冬支度を感じております。個人的に、葉を落とした木々を見ると愛おしさを感じます。それは、これから到来する冬の厳しい寒さを体全体で受け止め、乗り越えようとする植物の「力強さ」を感じることが出来るからです。私たちにも乗り越えることが困難と思われるような壁が目の前に立ちはだけるような壁があります。そんなとき、その壁に背を向けることなく、全力で乗り越えようとする気持ちをもっています。私が常に考えていることです。

三月十一日に東日本大震災が起きました。予期せぬ大惨事に日本全体が深い悲しみに包まれました。被災地では、その日以來休むことなく復旧作業が行われています。そんな恐怖や不安の中で生活をしている被災者の方々の目には、落胆の色よりも、むしろ希望の光を感じるのは私だけではないと思えます。また、その姿に自分で力強く歩き続けたことの大切さを再認識させられました。「自分はまだまだできる」そう信じて力強く、共に前進していきましょう。